

# 海業関連産業の域内取引構造の現状と課題

---

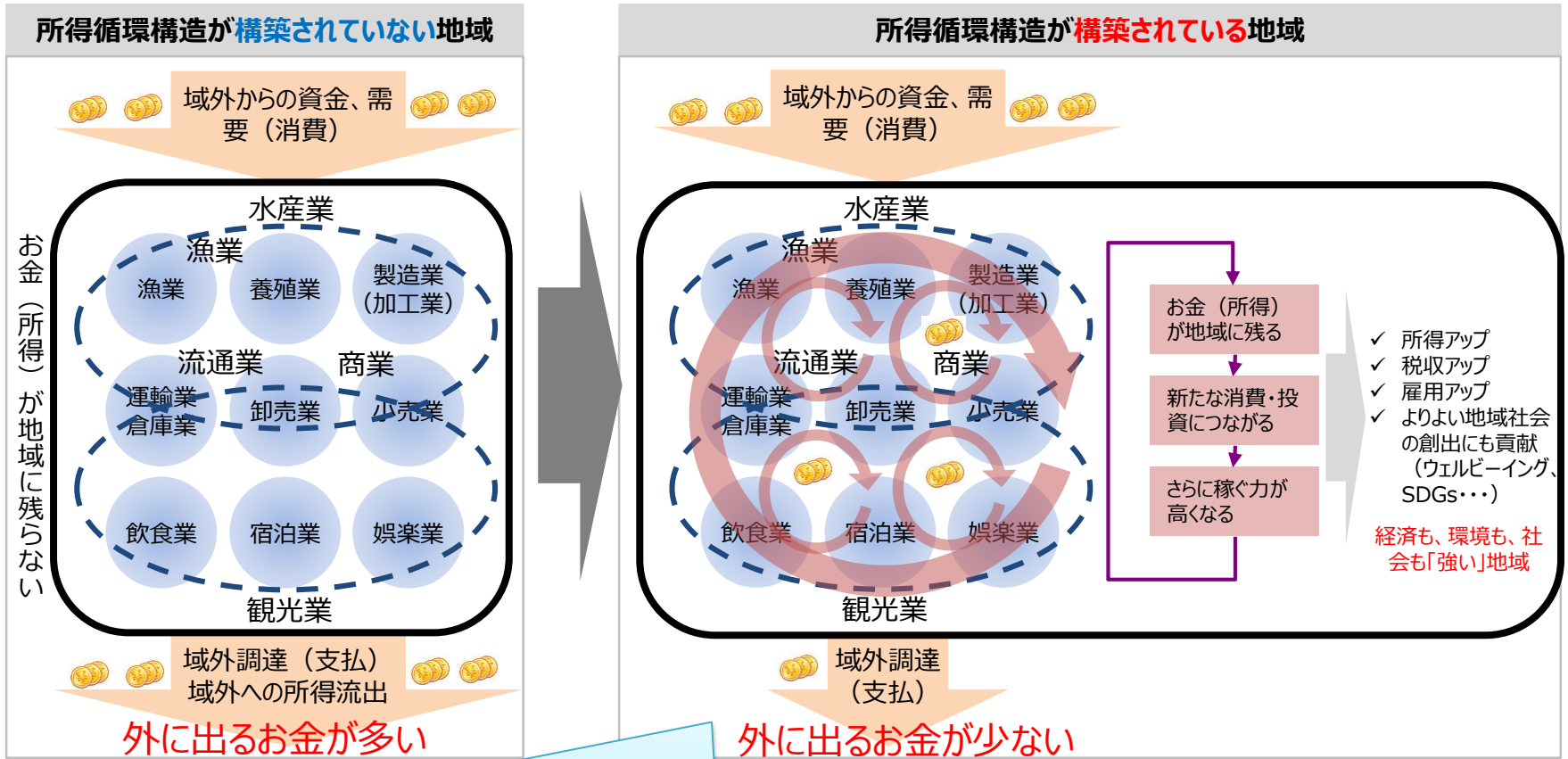
---

2023年12月13日



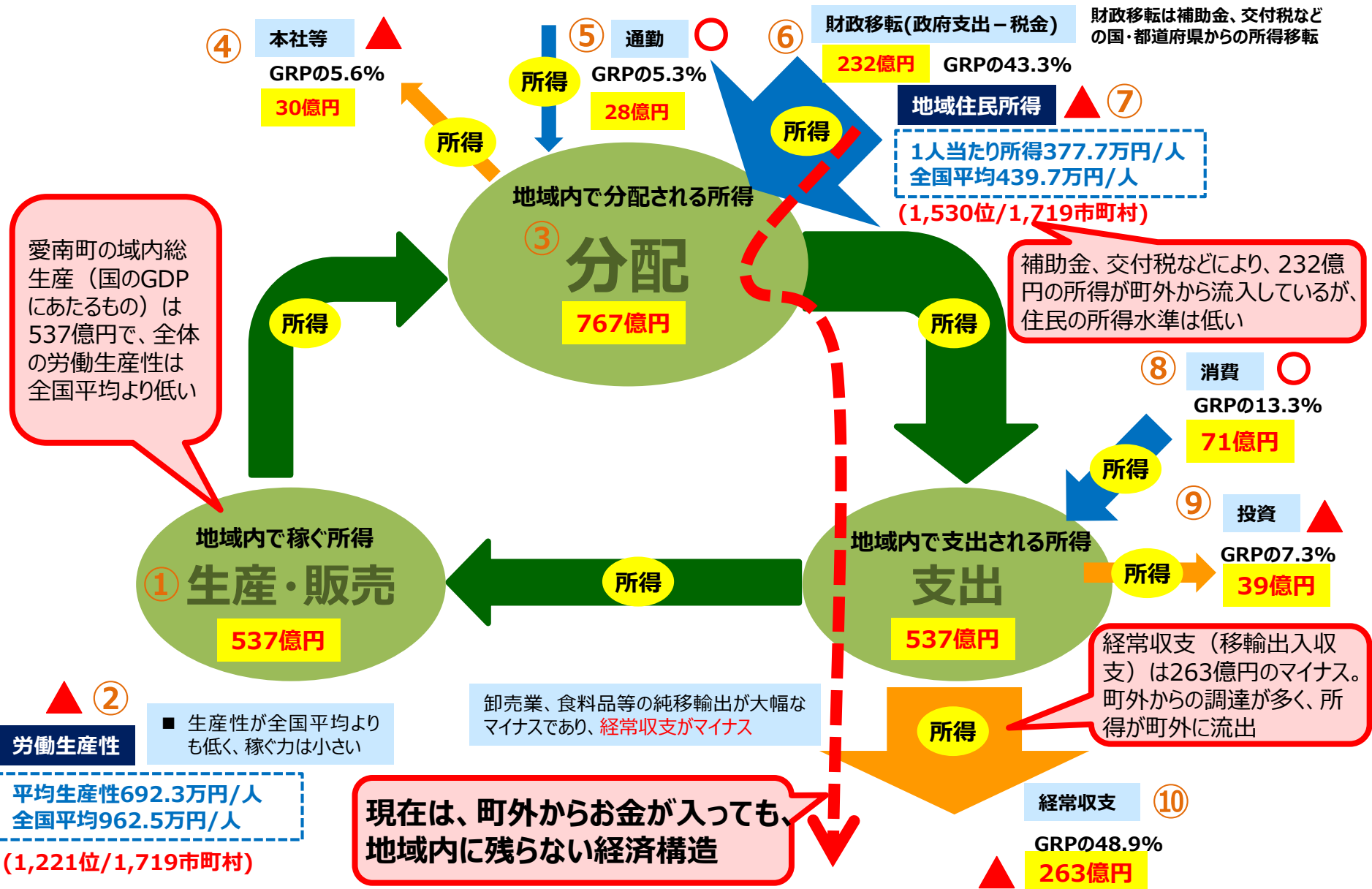
# 地域経済循環構造の構築による地域経済活性化の考え方

地域経済の活性化には、  
**「地域資源を生かして域外からお金を稼ぐ」+「地域内でお金を回す」** ことが必要



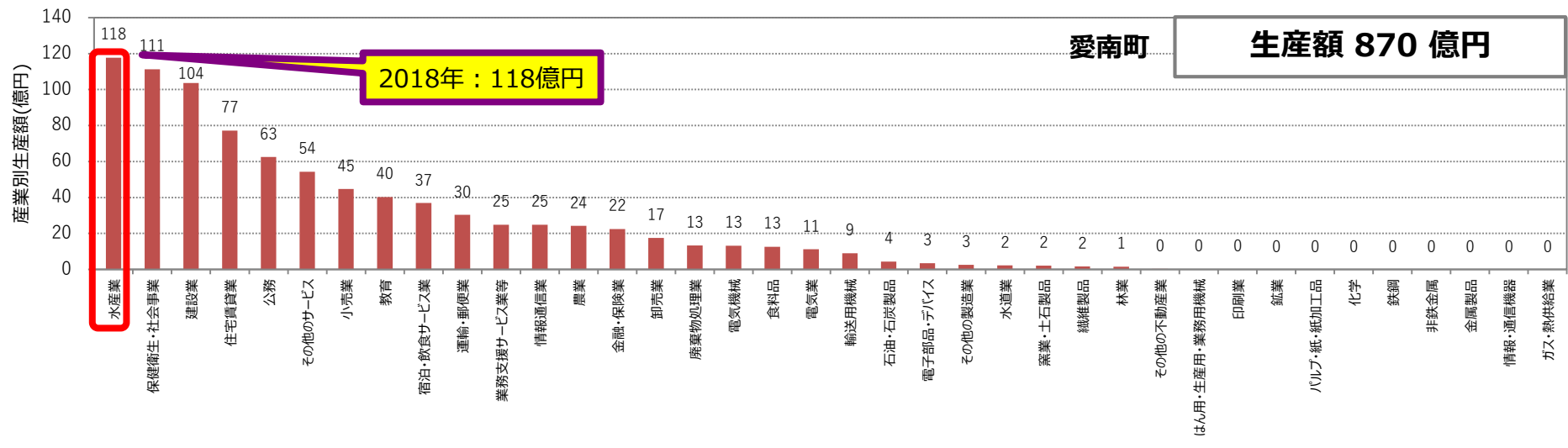
- 【地域経済循環構造の構築のためのポイント】**
- ✓ 地域資源を活用する (地域の事業者が、地域の得意なもの、地域ならではの原料や素材を使う)
  - ✓ 生産性を高める (品質アップ、効率性アップ)
  - ✓ 域内取引を強化・拡大する (供給力を高める、域内企業が活躍する、企業「つなぐ」仕組みづくり……) 等

# 愛南町の地域経済循環（所得循環構造）：2018年

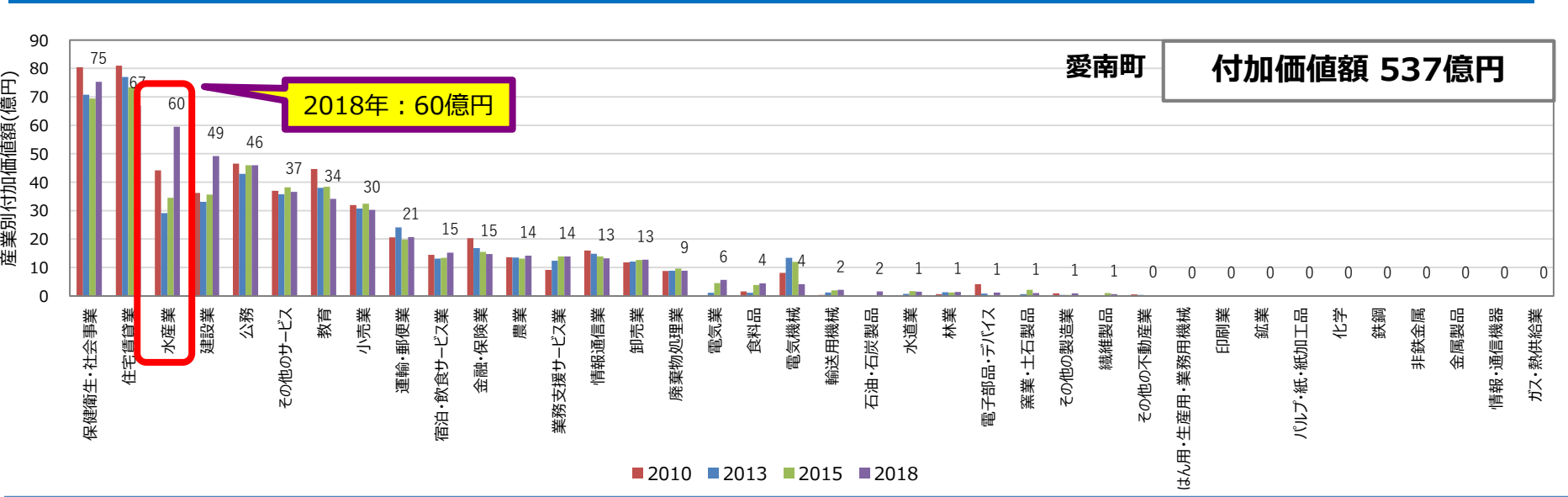


# 愛南町の産業別生産額・付加価値額

## 産業別生産額 (売上額)

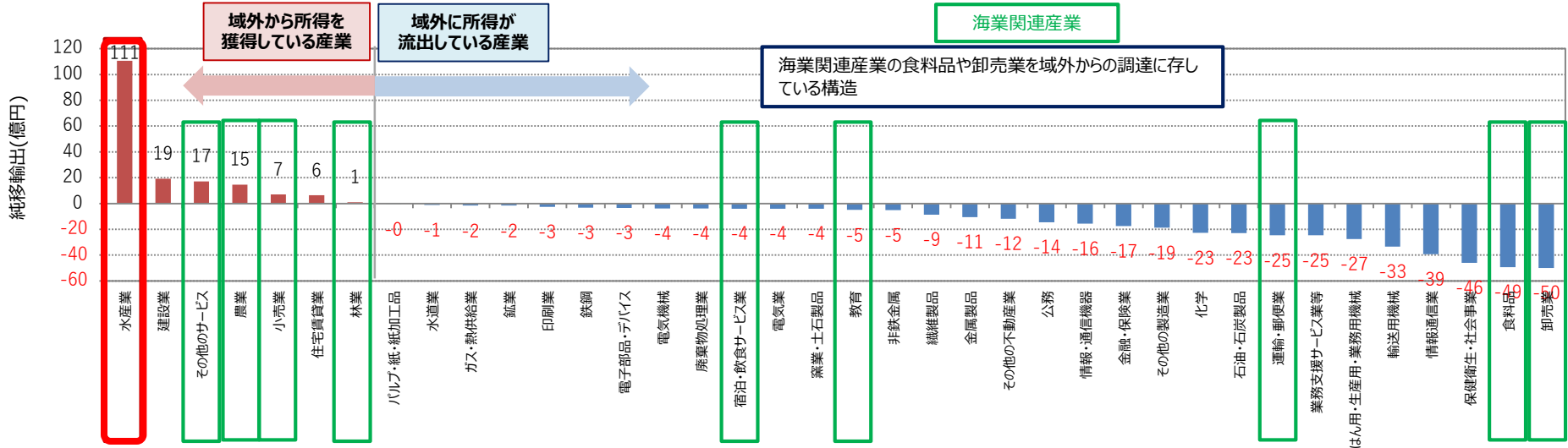


## 産業別付加価値額 2010年～2018年



# 愛南町の経常収支の内訳

## 経常収支の内訳（産業別純移輸出額）

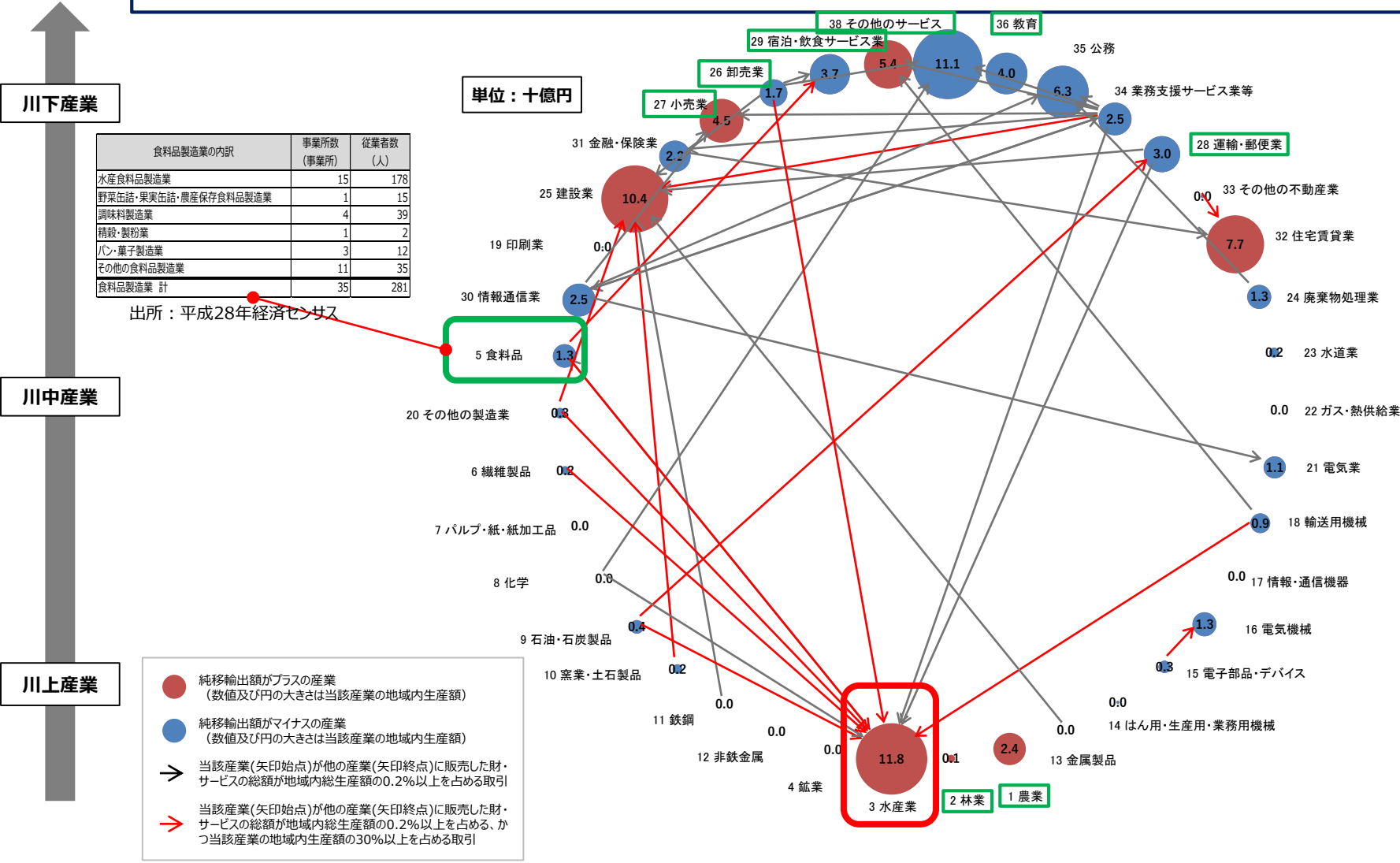


- 愛南町において、**水産業は町外から所得を多く獲得**している産業となっている。
- 他方、**多くの産業で、町外に所得が流出**している（町外から多くを調達している）
- 特に、**食料品製造加工、卸売は、域外への所得の流出が大きい**（両産業で100億円程度→愛南町の経済規模の2割近くに相当する額が町外へ流出）

• これら、町外に所得が流出している産業は、町内で**ポテンシャルがある産業**といえる  
 →**町内で産業を強化し、町内で調達できるようにすることで所得の流出を抑えること＝所得を町内で循環させることができる。**

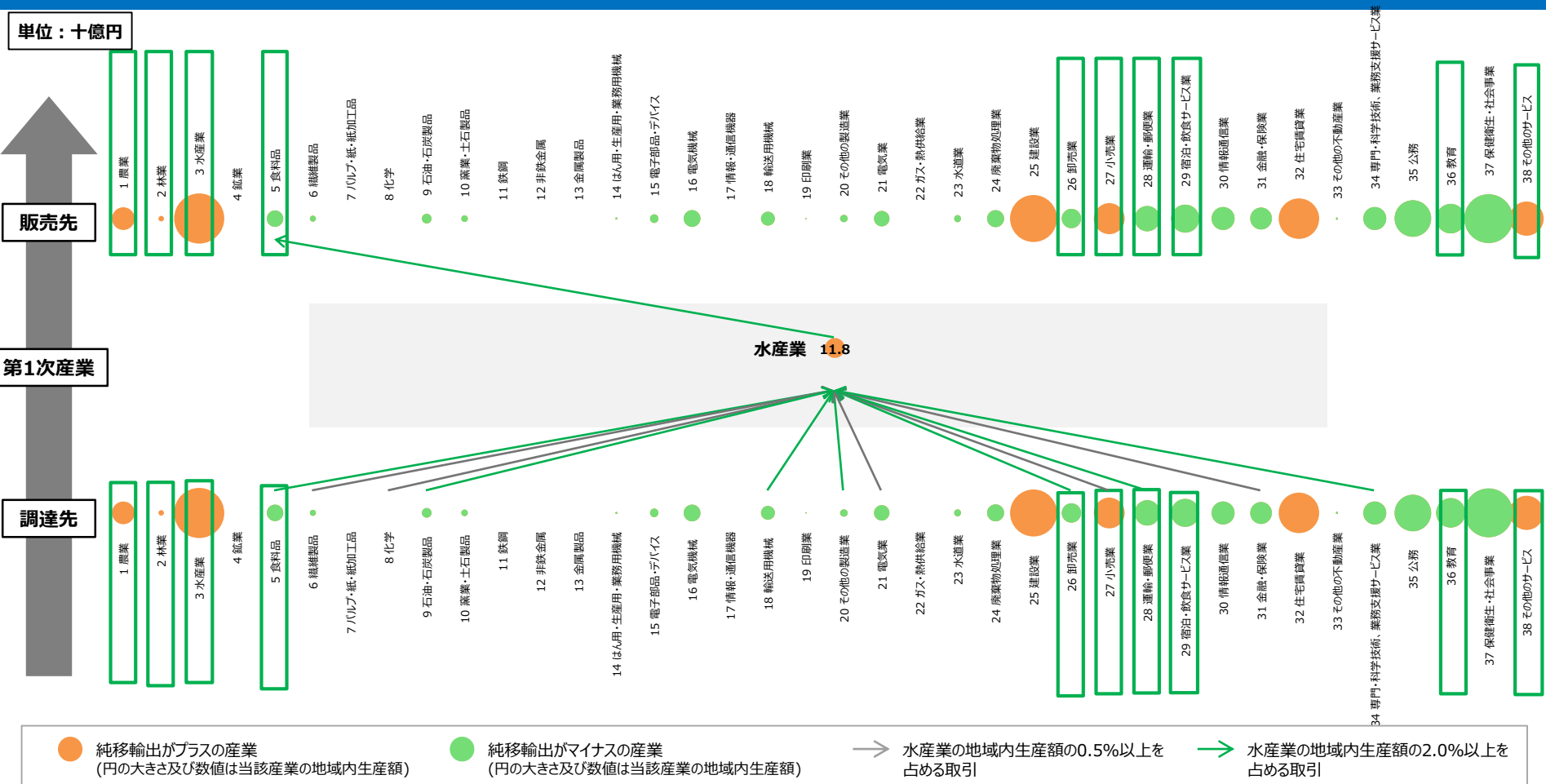
# 愛南町の産業間取引構造の全体概況

• 水産業は、町内の多くの産業から調達しているが、水産業から町内他産業への取引は多くない



# 愛南町の水産業の主要な取引構造

## 「水産業」に着目した主要な取引構造



出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「経済センサス」、「産業連関表」等より作成

- 町内において、水産業を起点とした域内取引構造は十分に構築されているとはいえない。

# 愛南町の主な水産業関連企業の取引構造 (東京商工リサーチデータより)

## 漁業・養殖業

(直近決算期の売上高が把握できる企業のうち、売上高上位10社 計140億円)

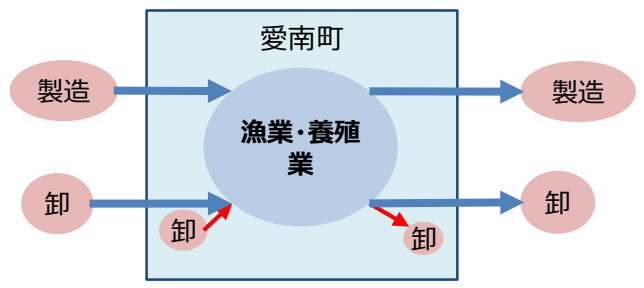
### 仕入先企業数

業種	愛南町内	愛媛・高知 (町内除く)	他地域	計
魚類養殖業	0	1	1	2
鉄骨工事業	0	2	0	2
一般電気工事業	0	1	0	1
一般管工事業	0	1	0	1
その他の水産食料品製造業	0	0	1	1
配合飼料製造業	0	0	4	4
漁網製造業	0	1	3	4
プラスチック製容器製造業	0	1	0	1
金属工作機械製造業	0	2	0	2
医療用機械器具製造業	0	0	1	1
船舶製造・修理業	0	0	1	1
特定貨物自動車運送業	2	1	0	3
船舶貸渡業	1	0	0	1
生鮮魚介卸売業	1	11	3	15
その他の産業機械器具卸売業	0	0	1	1
電気機械器具卸売業	0	0	1	1
医薬品卸売業	1	0	0	1
肥料・飼料卸売業	0	3	2	5
他に分類されないその他の卸売業	0	2	1	3
ガソリンスタンド	1	0	2	3
他に分類されないその他の小売業	1	1	0	2
漁業協同組合	2	0	2	4
一般機械修理業	0	0	1	1
計	9	27	24	60

### 販売先企業数

業種	愛南町内	愛媛・高知 (町内除く)	他地域	計
その他の水産食料品製造業	0	0	1	1
冷凍調理食品製造業	0	0	1	1
配合飼料製造業	0	0	2	2
生鮮魚介卸売業	2	16	5	23
肥料・飼料卸売業	0	1	0	1
鮮魚小売業	2	0	0	2
漁業協同組合	1	0	1	2
事業協同組合	0	0	3	3
計	5	17	13	35

- 仕入、販売ともに、取引先は町外企業が多い
- 取引先として、生鮮魚介卸売業、配合飼料製造業、食料品製造業が多いが、いずれも町外との取引が多い。



※東京商工リサーチ (TSR) データで把握できるのは、取引先企業の業種、立地地域のみである (取引先ごとの取引額は把握できない)



# 愛南町の主な水産業関連企業の取引構造 (東京商工リサーチデータより)

## 水産食料品製造業 (直近決算期の売上高が把握できる企業3社 計8億円)

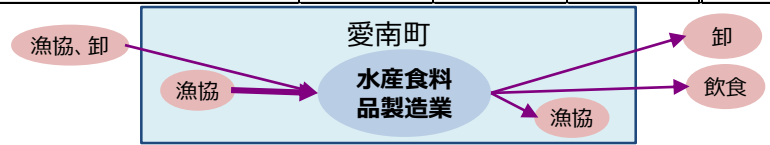
仕入先企業数

業種	愛南町内	愛媛・高知 (町内除く)	他地域	計
一般管工事業	1	0	0	1
生鮮魚介卸売業	0	1	0	1
漁業協同組合	3	1	0	4
計	4	2	0	6

- 町内での産業としての規模がは大きくない
- 仕入は町内または周辺地域の企業が多い

販売先企業数

業種	愛南町内	愛媛・高知 (町内除く)	他地域	計
生鮮魚介卸売業	0	1	0	1
漁業協同組合	1	0	0	1
食堂、レストラン	0	0	1	1
計	1	1	1	3



## 生鮮魚介卸売業 (直近決算期の売上高が把握できる企業5社 計24億円)

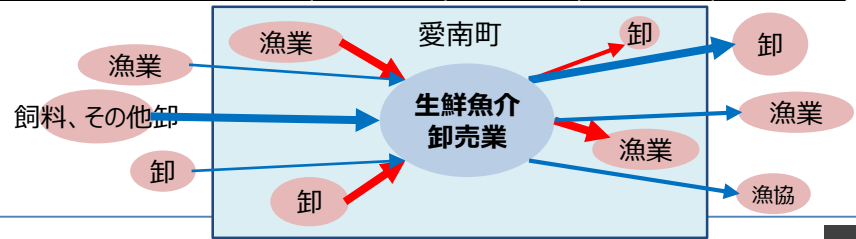
仕入先企業数

業種	愛南町内	愛媛・高知 (町内除く)	他地域	計
魚類養殖業	5	1	1	7
その他の海面養殖業	0	1	0	1
配合飼料製造業	0	0	1	1
その他の食料・飲料卸売業	0	1	0	1
ガソリンスタンド	0	1	0	1
漁業協同組合	0	0	2	2
生鮮魚介卸売業	2	1	0	3
純粋持株会社	0	0	1	1
自動車(新車)小売業	0	1	0	1
計	7	6	5	18

- 魚類養殖業や同業の取引先が多い
- 魚類養殖業は仕入・販売ともに町内企業が多いが、卸売業との取引は、仕入は町内企業が多いが、販売は町外企業が多い

販売先企業数

業種	愛南町内	愛媛・高知 (町内除く)	他地域	計
その他の海面養殖業	0	1	0	1
医薬品製剤製造業	0	0	1	1
漁業協同組合	0	1	3	4
魚類養殖業	4	0	2	6
純粋持株会社	0	0	1	1
生鮮魚介卸売業	1	3	5	9
鮮魚小売業	0	0	1	1
計	5	5	13	23



# (参考) 町内事業者の取引状況例

## 【調査概要】

- ・愛南町における海業関連産業（宿泊業、飲食・サービス業、その他サービス業（マリンレジャー、磯釣り等））67事業者に対し、直近一年間の支出における町内外での調達状況、従業員の就業状況、利用者数等について調査。7事業者より回答あり。
- ・調査期間：令和5年10月20日～11月7日（磯釣り業者においては10月30日～11月13日）

## 町内事業者の取引状況の事例



### 【民宿A（一本松）】

○利用者数 83人  
（町外割合100%）

○支出の状況

・原材料等

調達品	金額	町内調達率
野菜・魚 （※町内のスーパーより）	18万円	100%
調味料、その他食材 （※町内のスーパーより）	40万円	100%

・その他の支出

調達品	金額	町内調達率
水道光熱費	62万円	86%

### 【民宿B（外泊）】

○利用者数 203人  
（町外割合100%）

○支出の状況

・原材料等

調達品	金額	町内調達率
野菜・魚 （※町内のスーパーより）	70万円	100%

・その他の支出

調達品	金額	町内調達率
地代家賃	7万円	100%
水道光熱費	66万円	100%
地代家賃	94万円	100%

### 【マリンレジャー（ダイビング）C】

○利用者数 2000人  
（町外割合5%）

○支出の状況

・原材料等

調達品	金額	町内調達率
酸素	400万円	0%
ガソリン	400万円	100%
オイル	50万円	100%

・その他の支出

調達品	金額	町内調達率
人件費	1000万円	100%
地代家賃	360万円	100%
水道光熱費	200万円	100%
その他経費	800万円	-

# 海業推進による地域経済循環構築への課題・期待

<b>漁業・養殖業</b>	取引の現状・特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>町外との取引が多い。特に域外の卸売業との取引が多い</li> </ul>
	課題・期待	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>域内の各種産業との取引を強化</b>していく</li> <li>漁業者にとって、町内と取引することのインセンティブをどう高めていくか</li> </ul>
<b>水産食料品製造業</b>	取引の現状・特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状、規模は小さいが、域内取引は多い</li> </ul>
	課題・期待	<ul style="list-style-type: none"> <li>食料品製造業、飼料製造業の域内取引ポテンシャルは高いと考えられることから、<b>域内の漁業、卸売との取引仕入）強化と、域内の小売、飲食等との取引（販売）強化</b>に期待</li> <li>肥料・飼料の製造を含め、<b>域内の食料品製造業の創出と水産業との取引強化</b>に期待</li> </ul>
<b>卸売業</b>	取引の現状・特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内漁業・養殖業、水産品製造業ともに町外卸売業との取引が多い</li> <li>町内卸売業と町内の小売・サービス業等との取引は多くない</li> </ul>
	課題・期待	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁業、製造、小売、サービス業をつなぐ<b>卸売機能の拡充</b>に期待</li> <li>さらに、生産者と消費者（住民、観光客）をつなぐコーディネート機能、マーケティング機能、企画機能を有する<b>地域商社的機能が構築</b>されることが望ましい</li> </ul>
<b>小売、飲食、サービス（観光）</b>	取引の現状・特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状、小規模な事業者においては、域内取引が多いものとみられる</li> </ul>
	課題・期待	<ul style="list-style-type: none"> <li>食材をはじめ、域内供給可能な資源は多いとみられることから、<b>多様な流通形態、取引形態を留意</b>することが望ましい。</li> </ul>
<b>産業共通（海業推進のポイント）</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域経済循環の構築（稼ぐ力向上＋域内の所得循環）には、「何をやるか」に加えて「<b>誰がやるか</b>」が重要</li> <li>新たな事業、取組も、できるだけ（スモールスタートでも）<b>地元の資本・資源・人材で取り組む</b>ことが重要</li> <li>分野間連携・・・<b>漁福連携</b>（加工作業等への従事）、<b>漁業者の兼業</b>（体験コーディネーター等）等。。。</li> </ul>

# 【参考】愛南町の海業振興による地域経済活性化の可能性

## 【現状・課題】

- 水産業は、愛南町を支える産業であり、域外から所得を稼ぐ産業となっている
- 域内の所得循環構造が構築されておらず、地域住民所得は全国平均よりも低い



## 【海業振興による地域経済活性化の可能性】

- 愛南町の最大の強みである「海」「漁業」を活かして、町内の各産業と水産業との域内取引を活発化することで、地域内での所得の好循環が起こり、地域の所得が向上する可能性 →町内産業の「総海業化」
- 特に、食料品加工、卸売業は、漁業に近い産業であるものの、いずれも50億円近くが域外に流出しており、これを抑えることによる地域経済への効果は大きい（単純計算で、地域内所得が2割上昇する可能性）

## ○愛南町における、経済活性化に寄与する海業振興の取組イメージ

- 各漁港や地区の特徴を生かした、加工、直売、体験、飲食等の事業展開（海業関連の町内集積）
- 町内での魅力ある加工商品・関連サービスやそれらを担う事業者の創出（町内取引の活発化）
- 特に、加工、卸売については、将来的な拡大を見据え、中長期的視点で推進（スモールスタート）
- 海や漁業に関する未利用資源・未活用資源の活用（価値化）
- 水産業と、町内の各種産業・事業との多様なつながり・連携の構築（町民生活と一体化） 等